

交換用シリンダー
Kaba star plus 取付説明書

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
 シリンダーを取り付ける前に、本説明書を必ずお読みください。



- ・交換作業時は必ず開扉状態にし、扉を固定して行ってください。作業途中で扉が閉まると入室出来なくなる恐れがあります。
- ・キーケースに貼ってあるシールのシリアル No. は、鍵登録及びスペアキーの注文に必要となりますので、キーケースを保管するか、他の場所へ No. を転記するなどし、紛失しないようにしてください。

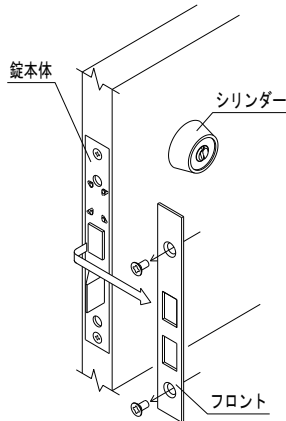
品番：8137

- ◆適用錠前 MIWA LA/DA, 化粧リング無しタイプ (取付仕様：シリンダー固定ピンによる固定)
- ◆取付用部品 すきま調整リング、交換用止め輪 (ドライバーカム変更時に使用)
- ◆扉厚別種類 (DT30/40/50/60/70/80/90/100/110/120)

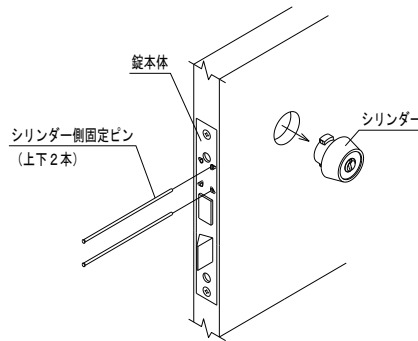
※扉対応幅は約 10mm、例えば DT30 の場合は DT26 ~ 35mm まで対応可能

※作業前に扉の厚みを確認し、購入されたシリンダーが扉厚 (DT) に対応しているか、ご確認ください。

- ①フロントのネジを外します。
 化粧リング無しの場合は化粧リングを先に外します。
 ※化粧リング無しタイプ
 への変更手順は裏面をご参照ください。

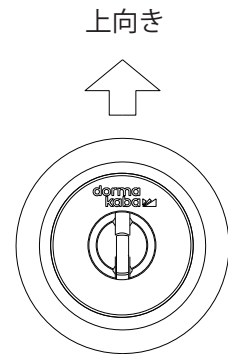


- ②シリンダー側のシリンダー固定ピン (上下 2 本) をマイナスドライバーやペンチ等を使用して抜き取り、既存シリンダーを外します。

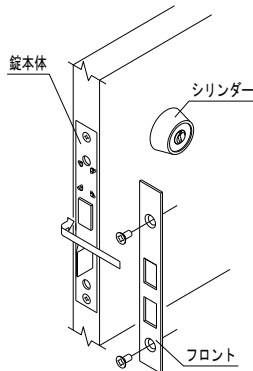


※注意 ピンを外すときはシリンダーを落とさないようにご注意ください。怪我をする可能性があります。

- ③取り外しと逆の要領でシリンダーを取り付けます。『dormakaba』のロゴが上向きになるようにしてください。

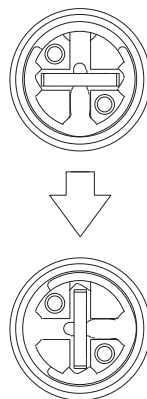


- ④施錠、開錠操作後、キーが抜けることを確認し、フロントを取り付けます。

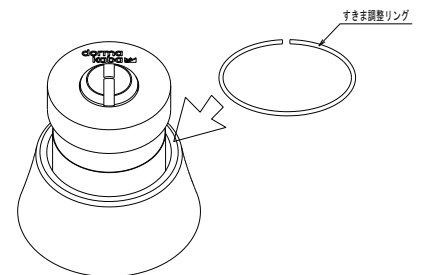


※注意 取り付け後、キーの操作が重くなった時は錠ケースの調整を行い、それでも復旧しない場合は専用潤滑剤 (kaba クリーナー) をご使用ください。

- ⑤施解錠位置でキーが抜けない場合、ドライバーカムを横から縦に変更する必要があります。詳細は裏面をご参照ください。



- ⑥カム送り解錠対策の為に、付属の「すきま調整リング」をシリンダー内に組み込むことをご奨めします。取り付け手順に関してはリングに付属している説明書をご参照ください。



※カム送り解錠とは、シリンダーと化粧リングのすきまから錠本体に直接攻撃する不正解錠の方法です。

ドルマカバジャパン株式会社

横浜本社
 〒226-0006
 神奈川県横浜市緑区白山 1-18-2
 ジャーマンインダストリーパーク
 TEL 045-931-8900
 FAX 045-931-9100

大阪営業所
 〒540-0034
 大阪府大阪市中央区島町 2-4-9
 島町第二野村ビル 2F
 TEL 06-4790-7560
 FAX 06-4790-7561



www.dormakaba.com/jp-ja

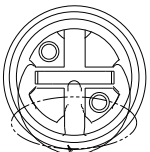
【ドライバーカムの横→縦交換作業手順】 必要道具：マイナスドライバー



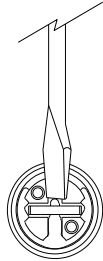
- ・外した止め輪は使用せず、付属している交換用止め輪を必ず使用してください。不具合等が起きる可能性があります。
- ・交換中は必ず鍵を抜いてください。鍵が抜けなくなり、製品が分解する恐れがあります。使用不能になった場合、修理は出来ず、交換になる可能性があります。

①見えている止め輪の中間柱をマイナスドライバー等で押します。

注意：力をあまり入れずに押してください。怪我をする可能性があります。

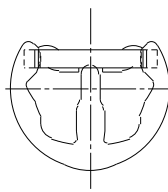
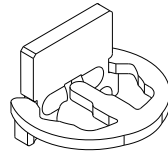


この隙間を利用して外す

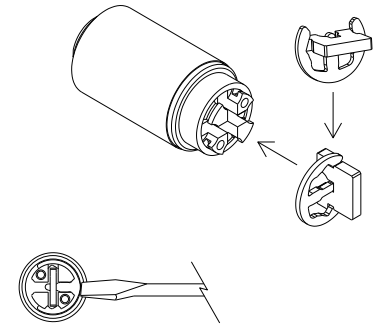


②止め輪の隙間を利用して、止め輪をずらし止め輪とドライバーカムを外します。

③外したドライバーカムと付属の止め輪をセットします。先にドライバーカムを置くことと止め輪が付けにくくなります。



④90° 回転させた位置にドライバーカムと止め輪を置きます。



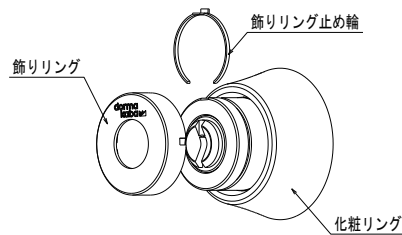
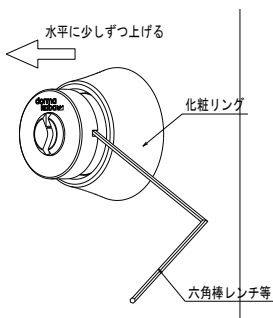
⑤止め輪の背をカチッと音がするまで押し、ドライバーカムを固定します。

【化粧リング無しタイプ変更手順】

必要道具：六角棒レンチ 1.5mm、あるいは2mm以下の細い棒、キリなど

①化粧リングを外します。

飾りリングの左右にある切欠きに六角棒レンチ等を片方ずつ差込み、中の飾りリング止め輪（板バネ）を押しながら、指で飾りリングを押し上げます。飾りリングを外し、溝に入っている飾りリング止め輪を外すと、リングバネと化粧リングが外れます。



②飾りリングを戻します。

ハウジングの溝に合わせて、飾りリング止め輪を差込み、バネを押えながら、飾りリングの切欠きと溝を合わせて、傾かないようにして、はめ込みます。カチッと音がする箇所まで合わせ、外れないかどうか確認をしてください。

